

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 平成30年度 第1回 女性技師研修会を開催して

埼臨技理事／女性技師企画研修委員会 委員長

小島 徳子（医療法人社団愛友会 蓮田一心会病院）

平成31年1月27日曜日、第1回女性技師研修会を開催しました。

この研修会は、過去2回「あじさいの会」という埼臨技有志の会として、普段の研修会になかなか参加できない方でも日曜日であれば参加できるかもという趣旨で研修会と意見交換会をセットにして行いました。今年度から、「女性技師企画研修委員会」に昇格し、その最初の研修会となりました。

『女性特有の体調不良～これって婦人病？更年期？こんな時どうしているの？～』というテーマで越谷市立病院産婦人科の前原真里先生に講演していただきました。オペの写真も多数盛り込まれていて、とても貴重な興味深い内容でした。また、一人でも多くの方にご参加いただきたく、お子さんも同伴できることにして、5名のお子さんがいらっしやいました。埼玉県の方はもちろん、長野県の方2名と宮城県の方も1名参加していただき、合計65名の方の参加となりました。

懇親会も和やかに行われ、参加者、スタッフ、その他技師会の方たちの御協力を得て、無事に終了する事ができました。ありがとうございました。



以下に参加された方の感想を紹介します。

埼玉医科大学国際医療センター  
室谷 明子



平成31年1月の生涯教育研修プログラムでまず目に留まったのは、今回参加した女性技師研修会でした。テーマは「女性特有の体調不良について」でした。年齢とともに感じる体調の変化、俗に言う更年期症状?!に不安を抱いていた私にとって、ほんとうにありがたい研修会テーマでした。研修会の後は同じホテルでランチを楽しみながらの意見交換会の企画もあり、迷うことなく参加申込みさせていただきました。研修会は、ほぼ満席の状態でした。講義では、女性の体は、ホルモンバランスにより保たれ、その仕組みや体に与える影響を知る事によって大きく生涯のライフスタイルが変わることを学びました。講義後も活発な質疑応答が行われ、とても有意義な研修会となりました。また、意見交換会のランチも美味しく、楽しい時間を過ごす事ができました!!

今回の企画をしてくださった「女性技師企画研修委員会」の皆様ありがとうございました。いろいろな不安を感じながら働く女性技師にとって、とても心強い存在です。これからの企画も楽しみにしております。

医療法人寿康会 寿康会病院  
濱田 順子



今回、第1回女性技師研修会に参加させていただきました。子連れOKとのことでしたので小学3年生の息子も一緒です。

現役産婦人科医の前原真里先生に、女性ホルモン関連疾患、女性の年齢によって起こりやすい病気やその治療について教えていただきました。先生の講義を聞いて、エストロゲン・プロゲステロンのホルモンバランスが崩れることにより女性の“こころとからだ”に起こりうる症状を予め知っておくことで、予防や早期受診・治療につながると思えました。講演最後の質疑応答では、諸先輩方のご自身の体調の相談等の質問もとびだし、2時間弱の講義があつという間に感じました。

勉強の後は、講師の先生を囲んでランチを食べながらの意見交換会です。おいしい食事とお酒で普段なかなかお話しできない他施設の技師さんとの会話も弾みました。息子も同年代のお友達と楽しく食事ができ、親子ともども、とてもいい体験となりました。

一般社団法人 長野県臨床検査技師会 常務理事  
伊那中央病院 宮原 祥子

公益社団法人埼玉県臨床検査技師会・女性技師企画研修委員会が開催した研修会に、長野県から会計の阿藤由理理事と2名参加させていただきました。女性技師を対象を絞った研修会は、長野県では開催されておられません。「ニーズがあるのか?出席される会員の年齢層は?」と大変興味がありました。会場に着くと、様々な年代の70名近い方々が参加され、選んだ会場が狭かったと思われるほど。講演いただいた前原先生にも活発な質問をされていました。

ランチはお子様連れの方も出席されてレストランが満席。あちこちのテーブルですっかり会話が盛り上がっている様子は大変うらやましい光景でした。長野県は広く、通常の研修会も週末に開催されることが多いため、新たな研修会を企画開催することは難しい状況ですが、今ある研修会のテーマに女性技師が興味も持つものを選ぶなど、工夫は出来ると思えました。今回は大変有意義な時間を過ごすことができました。

小島理事、伊藤理事をはじめ委員の方々、ありがとうございました。皆様方の一層のご発展をお祈りいたします。

## 第47回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：2019年12月1日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：『飛 翔』

サブテーマ：「～ 進化から昇華へ～」



第47回埼玉県医学検査学会  
事務局 大村 一之

第47回埼玉県医学検査学会にて事務局を務めます、埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科の大村一之と申します。

インフルエンザが過去最高に猛威を振った今年の冬でしたが、昨年より始動した実行委員会の定例会では、多くの意見が出されて活発な協議が重ねられています。

学会テーマは『飛翔』であり、この度サブテーマが「～進化から昇華へ～」に決定いたしました。飛び立ち、さらなる発展を目指して(=進化)、認められる目標に目を向けてそれを成し遂げていく(=昇華)という意味が込められています。本学会に参加された皆様がこのテーマのように、さらなる成長と目標達成を叶えるお手伝いできれば幸いです。

現在は、テーマに沿った企画内容を検討しております。皆様に、有意義な時間を過ごせたと感じただけの学会となるよう、新たな試みの検討も進めております。12月1日(日)、皆様のご参加を心よりお待ちしております。また学会開催に向けて会員、賛助会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 求 人 案 内

○医療法人 藤和会 藤間病院

採用条件：正職員、臨時職員(パート)  
連 絡 先：048-522-0600 総務課 かみむら 上村

○一般社団法人 大宮医師会メディカルセンター

採用条件：その他(非常勤職員)  
連 絡 先：048-665-6559

○医療法人 社団嬉泉会 春日部嬉泉病院

採用条件：正職員  
連 絡 先：048-736-0111 人事部 望月

○富家会 富家病院

採用条件：正職員  
連 絡 先：049-264-8811 人事課 小出

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員、臨時職員(パート)  
連 絡 先：048-645-1256 本部長 星野

○医療法人 しのぎ脳神経外科・産婦人科クリニック

採用条件：正職員  
連 絡 先：048-887-1881 院長 篠崎佳代子

○医療法人 社団和風会 所沢中央病院

採用条件：臨時職員(パート)  
連 絡 先：04-2994-1265 事務長 服部貢

○さいたま市民医療センター

採用条件：正職員  
連 絡 先：048-626-0011 総務課 戸田

○医療法人 社団俊睿会 南埼玉病院

採用条件：臨時職員(パート)  
連 絡 先：048-965-1151 事務長 宮田久美子

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある  
連絡先にてご確認をお願いいたします。

## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ 発達障害について

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成31年 1月18日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：専門教科－20点

講 師：畠山 千佳（さいたま市障害者総合支援センター 発達障害者支援係）

参加人数：会員49名 非会員1名

出席した研究班班員：菊地孝司 立塚梓 石井孟 鈴木智子 吉田翔平 穴原賢治

研修内容・感想など

今回は臨床心理士である畠山氏に発達障害について講義をしていただいた。最近、発達障害の言葉を耳にするようになったが具体的にどのような事かを理解する機会が少ないと思いこの研修会を企画した。予想を上回る参加人数でその関心の高さがうかがえた。畠山氏の説明は分かりやすくその内容は発達障害とはからはじまり、その判定になる発達障害の特性を13項目挙げられた時は普通の私達が経験している身近な動作も入っており聊か驚いた。発達障害と言っても実は3つの障害の総称であり、1つは自閉症スペクトラム障害（ASD）、2つ目は注意欠如多動性障害（ADHD）、3つ目として学習障害（LD）がある。発達障害者には個々の障害だけでなく何かと共存した障害を持っている方も存在するようだった。事例からの経験談は興味深いもので各障害での特性を述べられた。発達障害者と接する際に知っておく事として感覚過敏と二次障害についての説明があった。感覚過敏は個人により異なるが光や音などに過敏であり、二次障害とは個人に不適切な対応をしまい周りに迷惑をかけるようになる行動なのでこれらは理解しておくべき事だと思った。発達障害と診断されるにはいくつかの過程があり慎重にカウンセリングしていくので時間を要するようだ。最後に発達障害の人には、良い特性もあるのでそこを理解し我々が協力することによって社会に貢献できる社会人になれると感じた貴重な研修会だった。

（文責：穴原賢治）

### テーマ 心臓超音波検査に役立つ聴診トレーニング （聴診器の使い方～心雑音の聴き分け方を学ぶ）

主催 生理検査研究班

実施日時：平成31年 1月19日 15時00分～17時00分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 2階 講堂 点数：専門教科－20点

講 師：小林 さゆき（獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科）

参加人数：会員52名

出席した研究班班員：早川勇樹 仲野浩 瀧沢義教 田名見里恵

研修内容・感想など

今回の生理検査研究班研修会では、心臓超音波検査に役立つ聴診トレーニングをメインテーマとし、聴診器の使い方から心雑音の聴き分け方などについて学ぶことを目的に開催した。講師は、循環器一般、心臓超音波検査や心音図検査などがご専門である、獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科医師の小林さゆき氏にお願いした。小林氏は医学部学生聴診講義を担当されている。

今回の研修会では、①聴診法、②心音、③心雑音の順でお話いただいた。

#### ①聴診法

聴診は心血管疾患の最も重要かつ基本的な診断法である。講演はじめでは、聴診器の取り扱い、基本聴診部位のお話があった。弁の位置や向き、血流の方向により心音、心雑音の最もよく聴こえる場所は、実際の弁の位置とは異なるお話などがあった。

#### ②心音

講演では心音の構成、I音からIV音、正常心音図、心周期や病的音についてなどのお話があった。今回の研修会では、聴診教育用の教材を用いて、実際の心音を会場で聴いた。心雑音を学ぶ前にまずは、正常心音を繰り返し聴き学んだ。

## ③心雑音

心雑音は持続の長い音。心雑音の注目点としては、最強点、時相、音量、伝達方向、周波数、音調や恒常性である。講演では実際の心雑音を会場にて繰り返し聴いて特徴など学び、その後先生からは、聴いた心雑音に対する解説や補足などがあつた。

収縮期雑音、拡張期雑音、駆出性と逆流性雑音の鑑別、機能性雑音、連続性雑音や往復雑音について心音図、脈波、圧曲線、心エコー検査や臨床症例などを交え講演いただき勉強になった。講演終了後には、参加者から多くの質問があり、先生にお答えいただいた。

今回企画した聴診トレーニングが、心臓超音波検査時などで役立てばと思う。

(文責：瀧沢義教)

テーマ **あなたの知らない血小板の世界 ～治療薬から副作用まで～**

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成31年 1月24日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科－20点

講 演 1：血小板製剤副作用の現状について

講 師：松田 充俊（埼玉県赤十字血液センター 学術課）

講 演 2：血小板減少症治療薬について

講 師：熊切 茂夫（塩野義製薬株式会社 スペシャルティプロダクト室）

参加人数：会員64名

出席した研究班班員：山田攻 久保居由紀子 野呂光恵 小原佑太 伊藤佳世 長谷川卓也

研修内容・感想など

今回の研修会は『あなたの知らない血小板の世界～治療薬から副作用まで～』をテーマに2人の講師をお招きし開催した。

講演1では、松田氏から4つの内容に分けて講演をいただいた。1つ目の輸血副作用の現状では、副作用の種類や製剤別での頻度、副作用発現時間についてお話をいただいた。2つ目の輸血製剤副反応動向では、日本輸血・細胞治療学会のヘモビジランス小委員会の2016年度の結果を報告していただいた。副作用報告のうち約半数が血小板製剤であり、発生率は2.39%ということであった。3つ目の洗浄血小板製剤の輸血副作用では、洗浄血小板の供給状況や使用指針に関してお話をいただいた。洗浄血小板は副作用を防止する目的で使用され、有意義ではあるが副作用発生の報告もあるということであった。最後の血小板製剤による細菌感染症では、血小板が細菌汚染された事例の詳細や予後に関して、医療機関での注意事項をお話いただいた。医療機関ではスワーリングの確認等による外観検査は重要であるが、外観上の異常が認められない製剤の輸血でも細菌感染が発生しているということであった。また、細菌汚染が疑われた場合のバッグの保管の重要性に関してもお話をいただいた。

講演2では、熊切氏よりはじめに、止血の仕組みと肝臓の役割、肝炎の病態を分かりやすく説明をいただいた。また、血小板減少症や慢性肝疾患における観血的手技に関して図を用いて説明をいただいた。本題の血小板減少症治療薬は、待機的な観血手技を予定している慢性肝疾患患者における血小板減少症の改善に有意義で、投与スケジュールを決めて投与する事で血小板の上昇が期待できるということであった。投薬であれば血小板製剤輸血による副作用は防げるので、適応を見極める事で患者のリスクの軽減もでき、また限られた血液製剤の有効利用が可能になると思われる内容であった。

今回の2つの講演で、血小板に関して知らなかった知識を学ぶことができ、とても有意義な研修会であったと考えられる。

(文責：長谷川卓也)

テーマ **血尿診断ガイドラインからみる腎・泌尿器疾患の鑑別**

主催 一般・細胞検査研究班

実施日時：平成31年 2月1日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティーセンター 15集会室 点数：専門教科－20点

講 演 1：血尿診断ガイドラインからみる腎・泌尿器疾患の鑑別

講 師：小関 紀之（獨協医科大学埼玉医療センター）

講 演 2：血尿診断ガイドラインからみる腎・泌尿器疾患の鑑別

講 師：船津 靖亮（株式会社 正和ラボラトリー）

## 講演 3 : 症例検討

講師 : 松内 萌 (越谷市立病院)

参加人数 : 会員66名

出席した研究班班員 :

一般検査研究班 : 小関紀之 深田茂則 藤村和夫 柿沼智史 川音勝江 佐々木菜緒  
白石将也細胞検査研究班 : 加藤智美 山崎泰樹 鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 大谷奈穂 松内萌  
金守彰

## 研修内容・感想など

血尿の原因には腎炎、IgA腎症などの腎臓内科領域疾患、尿路結石や膀胱癌など泌尿器科領域の疾患など多岐にわたる。今回の研修会では、臨床現場で活用されている「血尿診断ガイドライン2013」を紐解き、一般・細胞検査のそれぞれの立場から、ガイドラインの概要の解説と腎・泌尿器疾患の鑑別点などについて講演していただいた。

講演1では、「血尿診断ガイドライン2013」の概要について講演していただいた。赤血球の形態情報は血尿の由来を考える情報として有用であり、赤血球形態の判定基準が解説された。

講演2では、尿細胞診の検体処理法について、また最も頻度の高い尿路上皮癌の診断基準について講演していただいた。高異型度尿路上皮癌を診断するには、核クロマチンの増量・核形不整・N/C比大・核偏在・核腫大の5項目に加え細胞質所見に注目することが重要である(泌尿器細胞診報告書様式による)と解説された。

講演3では、一般および細胞診検査を長期に渡って、繰り返し検査が成されていた症例につき、経過および病理組織学的な解説がされた。両者の検査が正診に導いた一例であった。

各々において「血尿」は共通のキーワードであるが、対象の疾患や鑑別は若干異なる。理解を深めることで、臨床の求める正確で精度の高い検査結果の提供に寄与することが期待されると感じた。(文責 : 加藤智美)

## テーマ 現場で役に立つ感染対策

主催 微生物検査研究班

実施日時 : 平成31年 2月 6日 19時00分~20時30分

会場 : 大宮ソニックシティ 601号室 点数 : 専門教科-20点

講師 : 奥住 捷子 (獨協医科大学病院)

参加人数 : 会員62名 賛助会員 2名 関連団体 2名

出席した研究班班員 : 砂押克彦 永野栄子 酒井利育 森圭介 小棚雅寛 今井英美  
千葉明日香 牧俊一

## 研修内容・感想など

今回は、現場で役に立つ感染対策というテーマで、奥住捷子氏にご講演いただいた。

環境における微生物の生存期間はかなり長期に及ぶものもあるなか、培養検体は何故新鮮な検体でなくてはならないのか?といった普段ルーチン検査だけをこなしていると、見落としがちな点から、その理由を考えるとといった、とても刺激的な講演だった。

他にも、まだ日和見感染という概念が確立していなかった時期に、患者の臨床所見や、培養結果などから、起炎菌を*Acinetobacter*属と推定したお話も興味深かった。

微生物検査は他の検体系検査よりも、経験というものが武器になる、そういった比率が比較的高い分野だと感じていたので、奥住氏のように長年にわたって微生物検査に携わってきた熟練の技師には及ばないと思ってきたが、経験もさることながら、既成概念にとらわれない柔軟な発想や、疑問に思った事を確認しようとする奥住氏のバイタリティに微生物検査技師としての本質を見たように感じた。(文責 : 牧俊一)

## テーマ 症例から学ぶ一般検査 尿から髄液まで

主催 一般検査研究班

実施日時 : 平成31年 2月22日 19時00分~21時00分

会場 : 浦和コミュニティーセンター 13集会室 点数 : 専門教科-20点

講師 1 : 槇島 碧 (北里メディカルセンター)

講師 2 : 小関 紀之 (獨協医科大学埼玉医療センター)

講師 3 : 大和田 善愛 (埼玉医科大学国際医療センター)

参加人数 : 会員45名 賛助会員 2名

出席した研究班班員 : 柿沼智史 白石将也 藤村和夫 小関紀之 川音勝江 室谷明子  
佐々木菜緒

研修内容・感想など

症例から学ぶ一般検査～尿から髄液まで～という事で3つの症例が提示された。

症例1では横島氏から髄液中に認められた悪性リンパ腫の症例についてご講演いただいた。内容は髄液の蛋白、糖、細胞数から髄膜炎の鑑別、細胞数算定時に検出された異型細胞について、その異型細胞をギムザ染色した像の解説と白血球タイピング検査について血液検査を含めた内容であった。

次に症例2では小関氏から尿潜血、沈渣赤血球の乖離と沈渣中に認めたヘモジデリン顆粒から血管内溶血を疑ったサラセミアの症例についてご講演いただいた。内容は血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿の解説、ヘモジデリン顆粒とその他の顆粒成分の鑑別、生化学検査、血液検査、尿中ヘモジデリン顆粒から疑われる疾患とサラセミアについて一般検査の基礎的な部分から血液検査のような多岐にわたる内容であった。

最後に症例3では大和田氏から膀胱癌TUR-BT後にBCG膀胱注入を施行した症例についてご講演いただいた。尿沈渣中に検出された異型細胞についての解説、BCG膀胱注入前後の尿沈渣について質問を交えた分かりやすい内容であった。

どの症例も貴重な内容でとても勉強になった。BCG膀胱注入前後の沈渣像など新鮮な情報も得ることができた。

さらに今回の症例では一般検査、血液検査双方の知識を深めていく必要性を感じ、施設内の部門間の連携強化も重要と考えられた。(文責 : 佐々木菜緒)

## テーマ 敗血症マーカーについて学びましょう

### 敗血症 - バイオマーカーによる早期診断・予後予測と 各種血液検査から迫る診断へのアプローチ

主催 血清検査研究班

共催 公衆衛生研究班

実施日時 : 平成31年 2月27日 19時00分～20時00分

会場 : 大宮ソニックシティ 604号室 点数 : 専門教科-20点

講師 : 原 敬志 (シスメックス株式会社)

司会 : 多川 裕介 (上尾中央総合病院)

参加人数 : 会員27名

出席した研究班班員 : 鈴木淳子 鯨井智子 中別府奈穂子 天野直樹 多川裕介 岩崎篤史  
庄司和春

研修内容・感想など

今回の研修会では「敗血症マーカーについて学びましょう」というテーマで原氏に講演していただいた。現在世界では、年間約3,000万人の敗血症が発症しており、そのうち約600万人が死亡している可能性がある。敗血症の診断、適切な抗生物質の選択と緊張状態を緩和し、より多くの患者様を生存させるためにも細菌感染症の早期診断は重要となってくる。

今回紹介のあったバイオマーカーとしてプレセプシンは全身性炎症反応症候群(SIRS)では上昇せず、敗血症に特異的に上昇する。また、血液培養で陽性になる前にプレセプシンが上昇するため、早期診断にも役立つと考えられる。

重症炎症が様々な機序で赤血球形態に影響を及ぼすことから、血球分析装置で得られるRDW(赤血球分布幅)を調べることで、重症度や予後予測に有用との報告もある。また、敗血症はDICを合併する危険性もあり、炎症による臓器障害、血栓による虚血性臓器障害が出現しやすく予後が悪い。線溶活性マーカーであるPICの測定やFDP/DD比等を調べ、早期治療に結びつけることも重要である。

敗血症の早期診断、予後予測を行う際は、一つのバイオマーカーのみならず、多角的に検査データを見る必要があると考える。(文責 : 多川裕介)

平成30年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第12回 理事会議事録

日 時：平成31年 2月14日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事) 神山 矢作 岡田 松岡 小山  
濱本 奈良 長岡 菊池 神嶋  
濱田 笹野 神戸 石井 山口  
阿部

(監事) 遠藤

欠 席：(理事) 長澤 猪浦 鳥山 小島 伊藤  
(監事) 細谷

本日の理事会の出席者は17名であった。理事の出席者は16名で、現在数21名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

#### Ⅰ. 行動報告 (平成31年1月10日～平成31年2月13日)

1月10日(木) 平成30年度第11回理事会：

神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、長澤、伊藤、濱田、笹野、石井、神戸、山口、鳥山、猪浦、阿部、遠藤

1月11日(金) 賀詞交歓会及び各賞記念祝賀会：

神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、長澤、伊藤、濱田、笹野、石井、神戸、山口、鳥山、猪浦、阿部、遠藤

1月11日(金) 第47回埼玉県医学検査学会第2回実行委員会：奈良

1月12日(土) 看護協会新年懇話会：神山

1月13日(日) 初級・職能開発講習会：

神山、岡田、矢作、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、阿部

1月18日(金) 第46回埼玉県医学検査学会第14回実行委員会：長岡、神嶋

1月18日(金) 第47回埼玉県医学検査学会第3回実行委員会：奈良、菊池

1月19日(土) 日臨技認定臨床化学・免疫精度保証検査技師精度審議会：神山

1月22日(火) 青年部委員会会議：

奈良、濱本、神嶋、神戸

1月25日(金) 日臨技第6回理事会：神山

1月25日(金) 日臨技情勢報告会：神山、岡田

1月25日(金) 日臨技賀詞交換会：神山、岡田

1月26日(土) 日臨技全国幹事会：神山、岡田

1月26日(土) 会計ソフト入力作業：神戸

1月27日(日) 女性技師企画研修会：

神山、小島、菊池、石井、伊藤、濱田

2月2日(土) 日臨技首都圏支部・関甲信支部臨床化学研修会：神山

2月2日(土) 日臨技首都圏支部・関甲信支部人材育成研修会：

神山、矢作、小山、濱本、長岡、神戸

2月2日(土) 埼玉県医師会新春の集い：

神山、岡田、松岡、山口

2月3日(日) 一都八県会長会議：神山、矢作

2月3日(日) 日臨技関甲信支部第2回幹事会：神山、矢作

2月13日(水) 埼玉乳がん臨床研究グループ他職種合同会議：矢作、神嶋

#### Ⅱ. 報告事項

##### 1 事務局

1) 日本医学検査学会事務局に理事3名、学術部推薦者6名、合計9名を座長候補者として送付した。

2) 1月12日(土) 公益社団法人埼玉県看護協会新年懇話会に神山会長が出席した。

3) 臨業協プロモーションに松岡副会長、研究班員6名、計7名の申し込みをした。班員は班費より行動費等支給：山口部長より連絡

4) 東武医学技術専門学校より卒業式の案内が届いた。

日時 平成31年 3月10日(日) 11:00～

会場 市民会館いわつき

埼玉県さいたま市岩槻区太田3-1-1  
神山会長を派遣の予定。

5) 当会使用のさくらサーバから送信したメールに対し、一部不具合があった。

6) 日臨技より臨床検査技師が実施する生理学的検査について(照会・回答)が届いた。

7) 埼玉県立大学より埼玉県立大学創立20周年記念式典・記念講演・祝賀会の案内が届いた。

日時 2019年 5月25日(土) 13:30～

会場 埼玉県立大学

埼玉県越谷市三野宮820

神山会長を派遣の予定。

8) 第24回～世界結核デー記念～国際結核セミナー平成30年度全国結核対策推進会議のお

知らせが届いた。

日時 平成31年 3月 7日(土) ・  
3月 8日(日)

会場 ヤクルトホール  
東京都港区東新橋 1-1-19

9) 埼玉県立大学より卒業式・大学院修了式の案内が届いた。

日時 平成31年 3月15日(金) 10:00～

会場 埼玉県立大学  
埼玉県越谷市三野宮820

岡田副会長を派遣の予定。

- 10) 1月25日(金)日臨技情勢報告会、日臨技賀詞交換会、1月26日(土)日臨技全国幹事会が開催され、神山会長、岡田副会長が出席した。
- 11) 筑波大学より多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム2019年度カリキュラムの案内が届いた。
- 12) 株式会社メテオから2019年度学会誌無料閲覧サービスの案内が届いた。
- 13) 2月2日(土)日臨技首都圏支部・関甲信支部人材育成研修会が開催され、神山会長、矢作副会長、小山事務局長、濱本事務局次長、長岡理事、神戸理事が出席した。
- 14) 2月2日(土)埼玉県医師会新春の集いがあり、神山会長、岡田副会長、松岡副会長、山口常務理事が出席した。
- 15) 文京学院大学卒業式：矢作副会長、埼玉医科大学卒業式：松岡副会長、西武医学技術専門学校：濱本常務理事が対応する予定。
- 16) 入学式に関しては従前通り祝電対応とする。
- 17) 2月13日(水)埼玉乳がん臨床研究グループ他職種合同会議が開催され矢作副会長、神嶋理事が参加した。

## 2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第477号、2月15日発行予定
- 2) 1月13日(日)初級職能開発講習会を開催した。
- 3) 1月22日(火)青年部委員会会議を開催した。
- 4) 1月27日(日)女性技師企画研修会を開催した。

## 3 事業部

- 1) 特になし。

## 4 学術部

- 1) 細胞検査部門、クエスタント利用の承認を行った。
- 2) 4月・5月の生涯教育研修プログラム2月15日発行予定。
- 3) 平成30年度日臨技推進事業の20研修会が終了した。定員60名に達した研修会15研修会。2019年度は各研究班に参加人数が多く見込めそうな研修会を手上げしてもらおう予定。

4) 第5回、第6回編集委員会を開催した。

## 5 精度保証部

- 1) 特になし。

## 6 会計部

- 1) 平成30年度正会員費 5名25,000円、入会金 5名分5,000円、合計30,000円の入金があった。
- 2) 日臨技より生涯教育推進研修会助成金 50,000円×2研修会、39,000円×1研修会、合計139,000円の入金があった。
- 3) 石井印刷へ、埼臨技だより第476号印刷代 127,526円を支払った。

## 7 精度管理委員会

- 1) 平成30年度埼玉県医師会精度管理調査事業報告書が2月15日刊行予定。
- 2) 平成30年度埼玉県医師会精度管理調査講習会を3月19日(火)県民健康センターで開催する。

## 8 一都八県会長会議

- 1) 2月3日(日)一都八県会長会議が開催された。

## 9 日臨技関甲信支部

- 1) 2月2日(土)日臨技首都圏支部・関甲信支部人材育成研修会が開催された。
- 2) 2月3日(日)日臨技関甲信支部第2回幹事会が開催された。

## 10 日臨技

- 1) 1月25日(金)日臨技第6回理事会が開催された。議事録は日臨技HPに掲載。

## 11 第46回埼玉県医学検査学会

- 1) 1月18日(金)第46回埼玉県医学検査学会第14回実行委員会が開催された。

## 12 第47回埼玉県医学検査学会

- 1) 1月18日(金)第47回埼玉県医学検査学会第3回実行委員会が開催された。

## III. 承認事項

### 1 事務局

- 1) 会員動向(平成30年度分)

平成31年 2月 1日現在  
会員数 3,033名[平成29年度会員数2,897名]  
(新入会員 274名)  
賛助会員 81社[平成29年度 86社]  
承認された。

### 2 総務部

- 1) 第46回埼玉県医学検査学会決算報告承認された。
- 2) 第47回埼玉県医学検査学会、JAMTIS使用権限の取得について  
必要最低限の人数に付与し、追加が必要な場合は3役承認とすることで承認された。
- 3) 第47回埼玉県医学検査学会、HP作成用P

Cの借用について

承認された。

- 4) 第47回埼玉県医学検査学会、最新賛助会員一覧表の取得について

会員名簿から抜粋し、使用することで承認された。

- 5) 青年部委員会委員の追加について、深谷赤十字病院の渡辺翔也氏を任命したい。

承認された。2月14日付けにて登録・委嘱状を作成することとした。

### 3 事業部

- 1) 特になし。

### 4 学術部

- 1) 2019年度生涯教育研修会の計画について

承認された。

- 2) 細胞検査部門、アンケート実施依頼について

承認された。

### 5 精度保証部

- 1) 特になし。

### 6 会計部

- 1) 特になし。

### 7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

### 8 第46回埼玉県医学検査学会

- 1) 特になし。

### 9 第47回埼玉県医学検査学会

- 1) 特になし。

## IV. 議題

### 1 事務局

- 1) 特になし。

### 2 総務部

- 1) 特になし。

### 3 事業部

- 1) 特になし。

### 4 学術部

- 1) 特になし。

### 5 精度保証部

- 1) 特になし。

### 6 会計部

- 1) 特になし。

## V. その他

- 1 定款諸規定集の印刷・配布について

小山事務局長より、定款諸規定集の印刷・配布について発言があった。審議の結果、印刷・配布は行わず、使用希望者にはHPよりダウンロードしていただくこととした。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

## あ と が き

風がやわらかく、花の便りがチラホラ聞こえてくるようになりました。寒い季節を乗り越えた植物の息吹に勇気をもらい、これまで胸に秘めていた新しいチャレンジを試してみたいなったりします。春には、前を向いて進もうとする人の背中を、そっと押してくれるような、そんなパワーを感じます。

「心の筋トレ」という言葉をご存知ですか？ 自分の心が弱っていると、大切なことがどんどん見えなくなっていく時があり、心を鍛えると、幸せの感度が上がり人生が変わるそうです。どんなに忙しさに追われたとしても、うつくしいものを美しいと感じる心は失いたくないものです。

さあ、もうすぐやってくる桜の季節。「心の筋トレ」でピカピカに心を磨きながら、桜前線を待ちわびたいと思います。



(菊池 記)